

世界の麻疹発生状況(更新2)

2011年3月22日 ProMED 情報

(1) フィリピン (コルディジェラ Cordillera)

[Bagulo News Updates, Philippine Information Agency (PIA)]

コルディジェラ保健省によると、コルディジェラおよび国内のその他の地域において麻疹患者数が増加しているとのことです。担当者によると、コルディジェラでは、2010年に476名の患者が報告され、そのうち81名が検査で確認されました。2011年は最初の8週間で95名の患者が報告され、そのうち15名が検査で確認されました。同国では、2008年に麻疹対策キャンペーンが実施されましたが、小児のワクチン接種率は目標の95%に届かず、同地域での接種率は80%でした。同国では、4月4日から麻疹風疹予防接種キャンペーンが開始される予定となっています。

(2) オーストラリア (クイーンズランド Queensland 州) [Goldcoast.com.au]

保健当局は、3月19日にゴールド・コースト Gold Coast のショッピングセンターの従業員1名が麻疹と診断されたことを受け、同地区での麻疹流行を危惧しています。当局は、同日にこのショッピングセンターで買物をした人は麻疹の症状の有無に注意を払い、症状出現時には直ちに医療を受けるべきであると述べています。

(3) チリ (サンティアゴ Santiago) [Terra Chile, UPI report]

3月16日、保健当局は、輸入例である生後10ヵ月令の麻疹患者を報告しました。当局は、乳児との接触を通じた感染拡大を防止するため、直ちに調査を開始しました。患者は、過去麻疹常在国を旅行した母親から感染したことが確認されています。チリでの麻疹患者は輸入例として2009年に最後の報告がありますが、国内での感染例は1992年以降報告がありません。

(4) アメリカ合衆国 (ミネソタ Minnesota 州) [Star Tribune]

3月17日、ミネアポリス Minneapolis でさらに3名の5歳未満の小児麻疹患者が報告され、そのうち2名は、ワクチンの安全性を心配して接種を受けなかったソマリ人の患者です。ミネアポリスでは、過去2週間で3名の入院患者を含む4名の麻疹患者が報告されています。保健担当者によると、ソマリ人コミュニティの間で、主にワクチンの安全性に関する誤った認識があり接種率が低下しています。関連性は医学的に否定されているにもかかわらず接種と自閉症との関連についての不安が広がっています。同州の疫学担当者は、親や医療関係者に対して、子供に適切な予防接種を受けさせるべきであると述べています。

(5) アメリカ合衆国 (カリフォルニア California 州) [RanchoBernardoPatch]

3月18日、保健当局は、27歳のPowayの男性が海外旅行後に麻疹と診断され、Rancho Bernardo、Carmel Mountain Ranch、Powayの人々が最近麻疹ウイルスに曝露された可能性があることを発表しました。この男性は、フィリピンとタイを旅行後、Radisson Suites Hotel Rancho Bernardo を含むいくつかの地域を訪れた後に麻疹を発症したとのことです。